

災害支援機能を有する高等専門学校練習船整備により 被災地支援の体制を強化

5か年加速化対策

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

災害時に効果が見込まれる事例

概要 要：老朽化が著しい国立高等専門学校が保有する練習船の代船を建造に際して、災害支援機能を充実させることにより、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に海上からの被災地支援の実施が期待される。

対策名：78大学・高専の練習船を活用した災害支援対策＜5か年加速化対策＞【文部科学省】

- 実施主体：高等専門学校（大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校等）
- 練習船の活用が想定される場所：食料・飲料水・電力等の供給が停止した被災地
- 事業概要：大学・高専が所有する練習船は、学生等の教育研究での活用その他、災害によって陸路での運搬が困難な被災地への救援物資の運搬や被災者への給水支援など災害支援機能の役割を担ってきた。
5か年加速化対策では、老朽化が著しい国立高等専門学校が保有する練習船の代船を建造に際して、災害支援機能を充実を図っており、令和7年度までに4隻の船舶を整備予定で、令和5年度までに2隻が完成した。
例えば、弓削商船高等専門学校の弓削丸は、貯水・造水設備や輸送設備の整備などにより災害支援機能を強化した。
- 事業費：約161億円（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）約161億円）（令和2年～令和5年）※全国の事業費
- 想定される災害と効果の見込み：
南海トラフ地震や首都直下地震といった大規模災害の発生時に、自治体との協定や要請等に基づき、高等専門学校の練習船（令和6年度現在5隻）を活用し、海上からの食料・飲料水・電力等の供給により被災地支援を実施することができる見込み。

＜5か年加速化対策において整備された高専練習船＞



大島丸（R5.3竣工）
【大島商船高等専門学校】
山口県大島郡周防大島町



弓削丸（R6.3竣工）
【弓削商船高等専門学校】
愛媛県越智郡上島町

＜近年の災害時等における高専練習船の活用例＞

高専名	船名	災害等名 （時期）	概要
弓削商船高専 大島商船高専	弓削丸 大島丸	平成30年7月豪雨 （平成30年）	弓削商船高専の所在する愛媛県越智郡上島町が断水したため、2つの高専練習船が連携し給水・入浴支援を実施。
大島商船高専 弓削商船高専 大島商船高専	大島丸 弓削丸 大島丸	貨物船衝突事故による断水 （平成30年）	大島商船高専の所在する山口県周防大島町と本土を結ぶ大島大橋に外国船舶が衝突し断水したため、3つの高専練習船が連携し給水・入浴支援を実施。
富山高専	若潮丸	能登半島地震 （令和6年）	七尾市において断水が続いていたため、救援物資の輸送を実施。